

国土数值情報(急傾斜地崩壊危険区域)

製品仕様書

第 1.1.1 版

令和 8 年 8 月

国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2020 年 11 月	初版
第 1.1 版	2021 年 11 月	告示年月日の項目を数値型から日付型に変更
第 1.1.1 版	2026 年 8 月	符号化仕様の修正

目次

1. 概覧	4
1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報	4
1.2. 目的	4
1.3. 適用範囲	4
1.4. 引用規格	4
1.5. 用語と定義	4
1.6. 略語	5
1.7. 参考資料	5
2. 適用範囲	5
2.1. 適用範囲識別	5
2.2. 階層レベル	5
3. データ製品識別	5
3.1. 製品仕様識別	5
4. データ内容および構造	6
4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書	6
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ	6
4.1.2 指定地域パッケージ	7
4.1.3 急傾斜地崩壊危険区域パッケージ	8
4.1.4 共通パッケージ	12
4.2. 空間スキーマプロファイル	12
4.3. 時間スキーマプロファイル	12
5. 参照系	12
5.1. 座標参照系	12
5.2. 時間参照系	12
6. データ品質	13
6.1. 品質要求及び評価手順	13
7. データ製品配布	15
7.1. 配布書式情報	15
7.2. 配布媒体情報	15
8. メタデータ	15
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧	1
付属資料-2 符号化仕様	1

1. 概覧

1.1. 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：
国土数値情報(急傾斜地崩壊危険区域)製品仕様書 第 1.1.1 版
- 日付:2026 年 8 月
- 作成者:国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課
- 言語:日本語
- 分野:指定地域
- 文書書式:PDF

1.2. 目的

本製品仕様書に基づく国土数値情報データは、国土形成計画等の国土計画・地域計画策定や土地・不動産関連施策の企画立案、都市政策の企画立案等を支援することを目的とする。また、各分野で広く利用されることも想定している。

1.3. 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲:日本全国
- 時間範囲:本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4. 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 令和元年 7 月

1.5. 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014「付属書 5(規定)定義」
- 国土交通省不動産・建設経済局情報活用推進課 GIS ホームページ ガイダンス
URL: <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

1.6. 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7. 参考資料

国土数値情報で使用するコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1. 適用範囲識別

国土数値情報(急傾斜地崩壊危険区域)製品仕様書 第 1.1.1 版適用範囲

2.2. 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

3.1. 製品仕様識別

- 空間データ製品の名称:国土数値情報(急傾斜地崩壊危険区域)データ
- 日付:2022 年 3 月 18 日
- 問い合わせ先:国土情報提供サイト運営事務局
<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/inquiry.html>
- 地理記述:日本全国

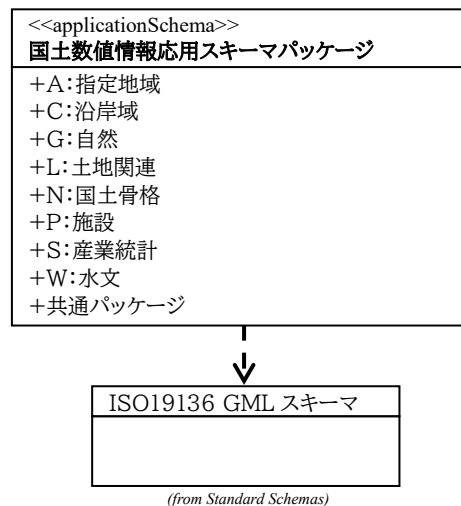
4. データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1. 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、施設や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 指定地域パッケージ

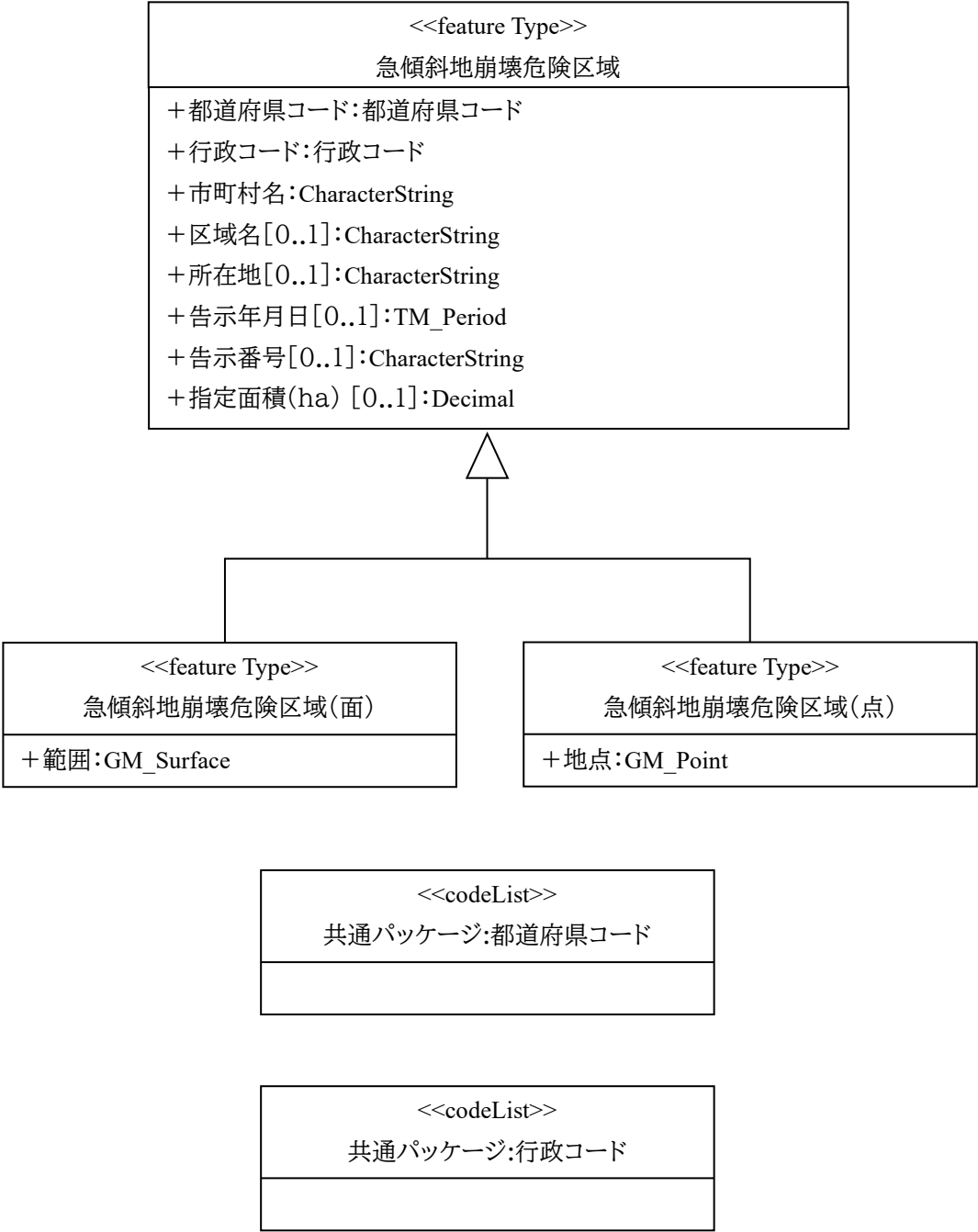
このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。

指定地域パッケージ			
A02: 指定地域メッシュ	A03: 三大都市圏計画区域	A05: 森林・国有地メッシュ	A07: リゾート法指定地域
A09: 都市地域	A10: 自然公園地域	A11: 自然保全地域	A12: 農業地域
A13: 森林地域	A15: 鳥獣保護区	A16: 人口集中地区	A17: 過疎地域
A18: 半島振興対策実施地域	A19: 離島振興対策実施地域	A20: 奄美群島	A21: 小笠原諸島
A22: 豪雪地帯	A23: 特殊土壌地帯	A24: 振興山村	A25: 特定農山村地域
A26: 土砂災害危険箇所	A27: 小学校区	A28: 世界自然遺産	A29: 用途地域
A30a5: 土砂災害・雪崩メッシュ	A30b: 竜巻等の突風	A31: 洪水浸水想定区域	A32: 中学校区
A33: 土砂災害警戒区域	A34: 世界文化遺産	A35a: 景観計画区域	A35b: 景観地区・準景観地区
A35c: 景観重要建造物・樹木	A37: 半島循環道路	A38: 医療圏	A39: 密集市街地
A40: 津波浸水想定	A42: 歴史的風土保存区域	A43: 伝統的建造物群保存地区	A45: 国有林野
A46: 地すべり防止区域	A47: 急傾斜地崩壊危険区域	A48: 災害危険区域	A49: 高潮浸水想定区域

4.1.3 急傾斜地崩壊危険区域パッケージ

このパッケージは、急傾斜地崩壊危険区域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1. 応用スキーマクラス図



4.1.3.2. 応用スキーマクラス図

急傾斜地崩壊危険区域

急傾斜地崩壊危険区域は、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」により規定される区域であり、都道府県知事が指定し、管理する区域である。

データ作成の原典資料を以下に示す。

- ・急傾斜地崩壊危険区域 GIS データ(都道府県)
- ・急傾斜地崩壊危険区域 公示図書・帳簿等(都道府県)

なお、時点は原則として最新データや公示図書などを使用する。

上位クラス:国土数値情報地物

抽象／具象区分:具象

属性

都道府県コード:都道府県コード

急傾斜地崩壊危険区域を指定した都道府県コード。

都道府県を一意に識別するためのコード。JIS 規格(JIS X 0401)に準拠する。

■ 定義域

01～47

行政コード:行政コード

急傾斜地崩壊危険区域を指定した行政コード。

都道府県コード(JIS X 0401)と行政コード(JIS X 0402)からなる、行政区を特定するための 5 桁の全国地方公共団体コード(検査数字は除く)。

また、追加告示等により「所在地」が複数ある場合は若番となる行政コードのみを記す。

■ 定義域

「行政コード」がとりうる値。

市町村名:CharacterString

急傾斜地崩壊危険区域を公示した告示に記載の「所在地」から市町村名を登録する。

市町村にまたがる場合はすべての市町村をそれぞれ半角カンマ区切りで記す。

「所在地」に記載の市町村名が市町村合併等で現在の行政コードに対応していないものは、新たに制定された市町村名を記す。

■ 定義域

実在する市町村名。

区域名:CharacterString

急傾斜地崩壊危険区域の名称。

■ 定義域

原典資料に示される「箇所名」。

所在地:CharacterString

急傾斜地崩壊危険区域の位置する地名。市町村名から記す。大字、小字、地番が原典資料に複数記載がある場合は全て登録する。

登録方法は半角カンマ区切りで 254 バイトに入る限り入力し、途中で情報が切れても機械的対応とする。254 バイトを超過する場合、末尾に半角スペース(半角アスタリスク):「 *」とし、登録できない情報は PDF 等で参照ファイルとする。なお、原典資料が、市町村合併等により現存しない旧市町村名で記されている場合も、そのまま原典資料どおりに記載する。

■ 定義域

原典資料に示される「所在地」。

告示年月日:TM_Period

急傾斜地崩壊危険区域を公示した日。年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁の 8 桁の整数で表す。

■ 定義域

原典資料に示される告示年月日

告示番号:CharacterString

急傾斜地崩壊危険区域を公示した告示の番号。

■ 定義域

原典資料に示される「告示番号」。

指定面積(ha):Decimal

急傾斜地崩壊危険区域を公示した告示に指定された面積。

■ 定義域

原典資料に示される「指定面積」。単位は(ha)とする。

急傾斜地崩壊危険区域(面)

急傾斜地崩壊危険区域(面)とは、急傾斜地崩壊危険区域の範囲を示す面情報

上位クラス:急傾斜地崩壊危険区域パッケージ:急傾斜地崩壊危険区域

抽象／具象区分:具象

属性

範囲:GM_Surface

急傾斜地崩壊危険区域の範囲

急傾斜地崩壊危険区域(点)

急傾斜地崩壊危険区域(点)とは、急傾斜地崩壊危険区域の地点を示す点情報

上位クラス:急傾斜地崩壊危険区域パッケージ:急傾斜地崩壊危険区域

抽象／具象区分:具象

属性

地点:GM_Point

急傾斜地崩壊危険区域の地点

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

4.2. 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 空間スキーマ」を採用する。

4.3. 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル(JPGIS)2014 時間スキーマ」を採用する。

5. 参照系

5.1. 座標参照系

参照系識別子:JGD2011/(B,L)

5.2. 時間参照系

参照系識別子:GC/JST

6. データ品質

6.1. 品質要求及び評価手順

データ品質要素／副要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。 また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(過剰なデータ数／原典資料に含まれるデータ総数)×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰データの割合:0%

データ品質要素／副要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。 誤率(%)=(漏れのデータ数／原典資料に含まれるデータ総数)×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの割合:0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形式となっていない箇所(XML 文書の構文として正しくない箇所)の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム(XML パーサなど)による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム(XML バリデータなど)による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が、応用スキーマが規定する定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%)=(定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数／データ集合内の地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	ポリゴンデータ
データ品質評価尺度	データ集合が持つ位相属性および位相を含む幾何属性の一貫性を検査し、エラーの割合(誤率)を計算する。 誤率(%)=(位相一貫性のエラーの数／検査対象のアイテムの総数)×100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査(ただし、ポリゴンデータのみ)を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	原典資料が地図であるものに関して、地図と原典資料、背景図(地理院地図)を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	実寸 25m以内

データ品質要素／副要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	原典資料から区域、形状が確定できないものに関して、地図と原典資料、背景図(地理院地図)を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	原典資料上の距離で 1mm以内

データ品質要素／副要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	地物属性を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない地物属性の割合を算出する。 誤率(%)=(内容が一致しない地物属性の数／地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

データ品質要素／副要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	地物属性を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない地物属性の割合を算出する。 誤率(%)=(内容が一致しない地物属性の数／地物属性の総数)×100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

7. データ製品配布

7.1. 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 2014 付属書 12(規定)地理マーク付け言語(GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS2014(GML)付属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd>

国土数値情報(急傾斜地崩壊危険区域)応用スキーマで使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XML Schema は、付属資料参照のこと。

名前空間：<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞:ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2. 配布媒体情報

■ 単位

都道府県

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス(JPGIS 準拠データ)

URL <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8. メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。

国土数值情報(急傾斜地崩壊危険区域)製品仕様書

第 1.1.1 版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
指定地域パッケージ				
	急傾斜地崩壊危険区域パッケージ			
	急傾斜地崩壊危険区域		SteepslopecollapseDangerZone	steep slope collapse danger zone
	都道府県コード	都道府県コード	CodeOfPrefecture	code of prefecture
	行政コード	行政コード	administrativeAreaCode	administrative area code
	市町村名	CharacterString	cityName	city name
	区域名	CharacterString	areaName	area name
	所在地	CharacterString	address	address
	告示年月日	TM_Period	dateOfPublicNotice	date of public notice
	告示番号	CharacterString	numberOfPublicNotice	number of public notice
	指定面積(ha)	Decimal	area	area
	急傾斜地崩壊危険区域(面)			
	範囲	GM_Surface	bounds	bounds
	急傾斜地崩壊危険区域(点)			
	地点	GM_Point	position	position

付属資料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
  xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  elementFormDefault="qualified" version="1.2">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
    schemaLocation="http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd" />
  <!-- 基底要素 (Dataset) -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:sequence minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="ksj:SteepslopecollapseDangerZone" />
          </xsd:sequence>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="SteepslopecollapseDangerZone"
    type="ksj:SteepslopecollapseDangerZoneType" abstract="true"
    substitutionGroup="gml:AbstractFeature" />
  <xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZoneType" abstract="true">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>急傾斜地崩壊危険区域</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
          <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```

```

<xsd:element name="CodeOfPrefecture" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>都道府県コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>PrefectureCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administrativeAreaCode" type="gml:CodeType" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>行政コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="cityName" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>市町村名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="areaName" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>区域名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="address" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>所在地</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="dateOfPublicNotice" type="gml:TimeInstantPropertyType"
  minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>告示年月日</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="numberOfPublicNotice" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>告示番号</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

        </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="area" type="xsd:string" minOccurs="0">
        <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>指定面積(ha)</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
    </xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZonePropertyType">
    <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:SteepslopecollapseDangerZone" />
    </xsd:sequence>
    <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZoneMemberType">
    <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
            <xsd:sequence minOccurs="0">
                <xsd:element ref="ksj:SteepslopecollapseDangerZone" />
            </xsd:sequence>
            <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
        </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<!-- 急傾斜地崩壊危険区域(面) -->
<xsd:element name="SteepslopecollapseDangerZonePolygon"
    type="ksj:SteepslopecollapseDangerZonePolygonType"
    substitutionGroup="ksj:SteepslopecollapseDangerZone" />
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZonePolygonType">
    <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>急傾斜地崩壊危険区域(面)</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="ksj:SteepslopecollapseDangerZoneType">
            <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
                <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">

```

```

        <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>範圍</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
    </xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZonePolygonPropertyType">
    <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:SteepslopecollapseDangerZonePolygon" />
    </xsd:sequence>
    <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZonePolygonMemberType">
    <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
            <xsd:sequence minOccurs="0">
                <xsd:element ref="ksj:SteepslopecollapseDangerZonePolygon" />
            </xsd:sequence>
            <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
        </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<!-- 急傾斜地崩壊危険区域(点) -->
<xsd:element name="SteepslopecollapseDangerZonePoint"
    type="ksj:SteepslopecollapseDangerZonePointType"
    substitutionGroup="ksj:SteepslopecollapseDangerZone" />
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZonePointType">
    <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>急傾斜地崩壊危険区域(点)</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="ksj:SteepslopecollapseDangerZoneType">
            <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
                <xsd:element name="location" type="gml:PointPropertyType">
                    <xsd:annotation>
                        <xsd:documentation>形状</xsd:documentation>
                    </xsd:annotation>
                </xsd:element>
            </xsd:sequence>
        </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>

```

```

        </xsd:element>
    </xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZonePointPropertyType">
    <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:SteepslopecollapseDangerZonePoint" />
    </xsd:sequence>
    <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="SteepslopecollapseDangerZonePointMemberType">
    <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
            <xsd:sequence minOccurs="0">
                <xsd:element ref="ksj:SteepslopecollapseDangerZonePoint" />
            </xsd:sequence>
            <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
        </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
</xsd:schema>

```